

梅っ子通信

(学校教育診断アンケート結果)

令和2年3月2日

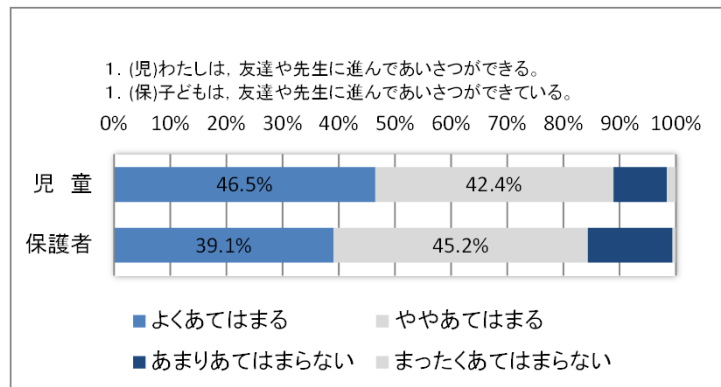
2学期末、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この結果をもとに、学校ではさまざまな見直しを進め、次年度に向けての改善策を検討していきます。

以下の考察では、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の回答の合計を肯定的な回答の比率と考えました。

【基本的な生活について】

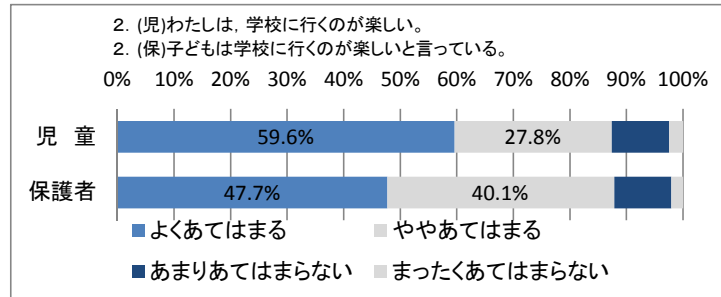
1. 友達や先生に進んであいさつができる。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	46.5%	42.4%	9.5%	1.6%
保護者	39.1%	45.2%	15.1%	0.6%



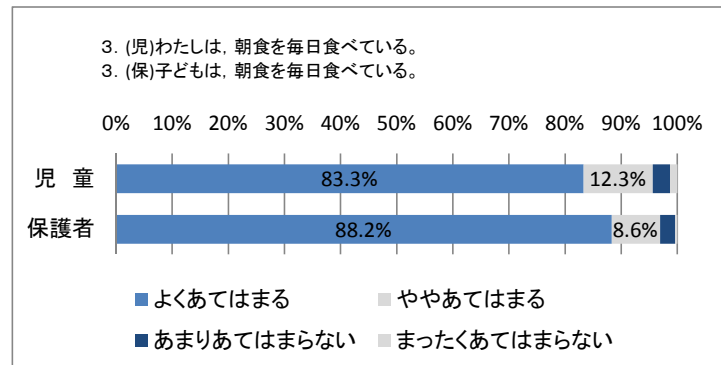
2. 学校に行くのが楽しい。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	59.6%	27.8%	10.1%	2.5%
保護者	47.7%	40.1%	10.1%	2.1%



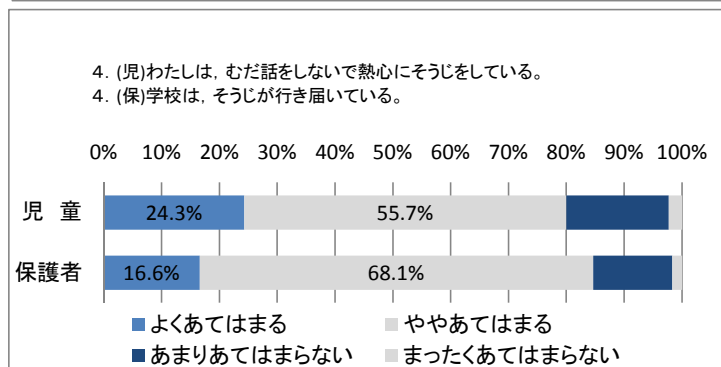
3. 朝食を毎日食べている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	83.3%	12.3%	3.1%	1.3%
保護者	88.2%	8.6%	2.7%	0.4%



4. むだ話をしないで熱心にそうじをしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	24.3%	55.7%	17.7%	2.3%
保護者	16.6%	68.1%	13.7%	1.7%



1「あいさつ」については、日頃の学校生活の中でも子ども同士や先生に対して、また来校されたお客様や地域の方とあいさつをする場面での指導により、その大切さを理解させ、意識付けをすることができてきました。さらに継続して指導することで、日々の生活の中で習慣化していくことが大切であると考えています。

2「わたしは、学校に行くのが楽しい」については、分かる授業の構築や、「教室には居場所がある」、「自分は必要とされている」などの自己肯定感がもてるような配慮や取組をして、多くの児童が「楽しい」と答えられるようにしていきたいと考えます。

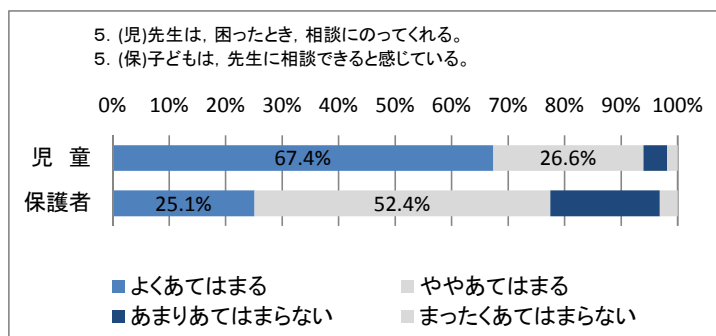
3「朝食」の問いに、児童96%・保護者97%が肯定的な回答をいただきました。「毎日朝食をとること」は、健康的な生活の基本ですので、保護者の皆様のご協力をいただき、100%に近づけていきたいと考えています。

4「もくもく掃除」については取組から4年目となり、その意義の理解は浸透してきていますが、活動のマンネリ化が見られてきているようにも感じられます。「もくもく掃除」では、粘り強い心、親切な心、発見する心が育つと言われています。今後は教職員もいっしょにもくもく掃除に取り組みながら、児童が生きていく上で大切な心を磨き、育てたいと考えています。

【生徒指導について】

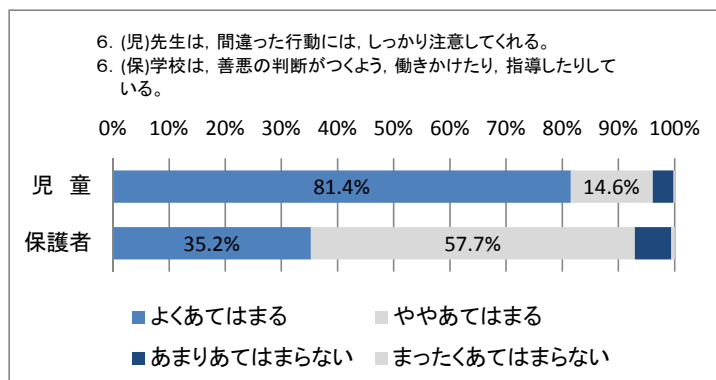
5. 先生は、困ったとき、相談にのっている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	67.4%	26.6%	4.2%	1.9%
保護者	25.1%	52.4%	19.4%	3.2%



6. 先生は、間違っただ行動には、しっかりと注意・指導している。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	81.4%	14.6%	3.7%	0.2%
保護者	35.2%	57.7%	6.5%	0.6%

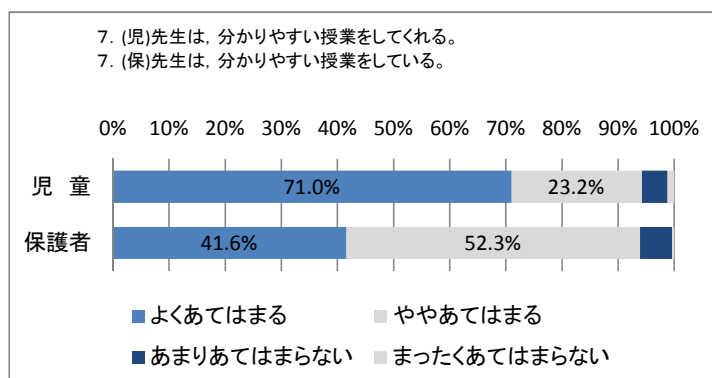


6「生活指導」に関する問いでは、児童も保護者も高い回答となっています。5「相談」に関する問いでは昨年度と比較しても改善が見られています。児童は94%が肯定的な回答となっていますが、保護者の回答は78%にとどまっており、教員への大きな期待がうかがえます。いつでも誰でも相談に乗れる体制をつくっていますが、声の出しにくい児童であっても、また保護者の方々からも相談しやすい雰囲気づくりにいっそう努めていきます。

【学習指導について】

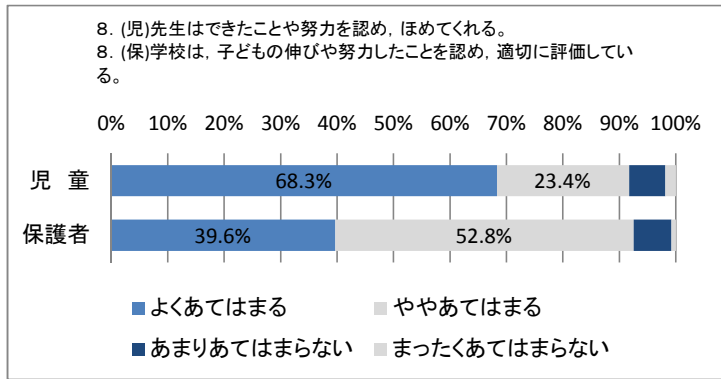
7. 先生は、分かりやすい授業をしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	71.0%	23.2%	4.6%	1.2%
保護者	41.6%	52.3%	5.7%	0.4%



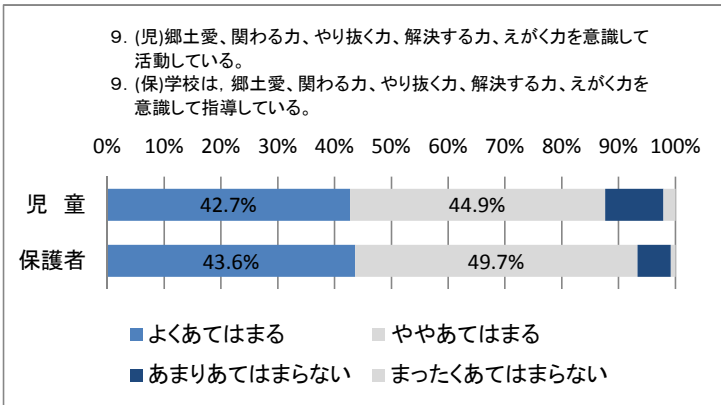
8. 先生は、できたことや努力を認め、ほめている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	68.3%	23.4%	6.4%	1.9%
保護者	39.6%	52.8%	6.7%	0.8%



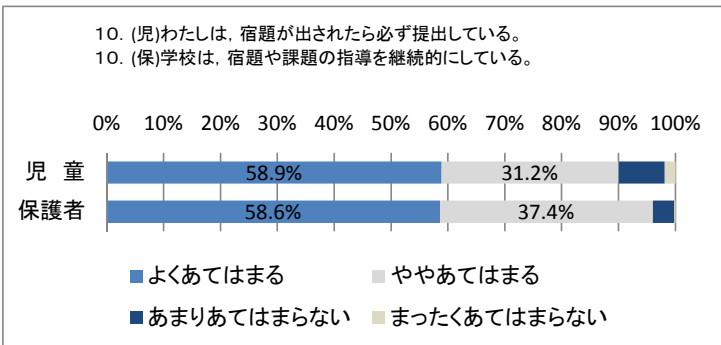
9. 郷土愛、関わる力、やり抜く力、解決する力、えがく力を意識して活動している。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	42.7%	44.9%	10.3%	2.1%
保護者	43.6%	49.7%	5.9%	0.8%



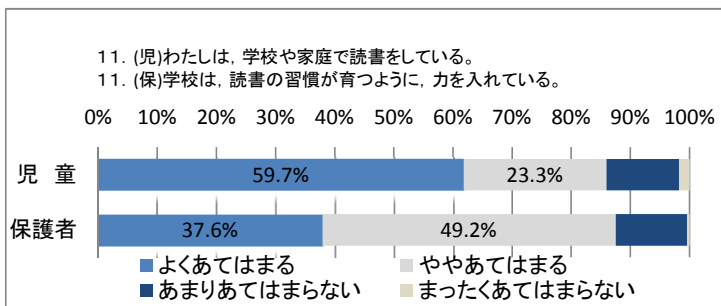
10. 宿題を必ず提出している。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	58.9%	31.2%	8.1%	1.9%
保護者	58.6%	37.4%	3.8%	0.2%



11. 学校や家庭で読書をしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	59.7%	23.3%	11.9%	5.1%
保護者	37.6%	49.2%	12.0%	1.3%



7「分かりやすい授業」8「適正な評価」に関する問いでは今年度も、児童、保護者ともにすべて90%以上の肯定的な回答をしています。来年度からいよいよ新学習指導要領が全面実施となります。新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、指導と評価の一体化に向けて、全教員一丸となって取り組んでいきます。

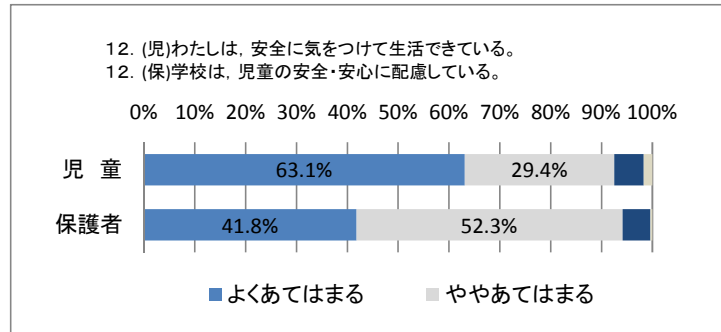
9「郷土愛、関わる力、やり抜く力、解決する力、えがく力」の育成については、取組の3年目となりました。学校での様々な教育活動を、この「5つの力」を育成するという視点に立って見直しを図り、児童が常に意識して活動に取り組むことができるように工夫してまいりました。今後も自分の未来を拓くことができる子どもたちとなれるよう指導していきたくと考えます。

10「宿題」11「読書」に関する問いでは、児童・保護者ともに高い回答となっていますが、保護者の回答は昨年度よりも2ポイント減少しています。梅ちぎりの収益金を活用したうめのみ文庫の整備により、多くの児童は、読書の大切さや楽しさが分かり、読書習慣を身に付けることができます。しかし、個人差もあるため、個に応じた指導・支援を充実させ、さらに意欲的に取り組むことができるようにしていきたいと考えています。年間を通して、読み聞かせボランティア「梅っ子広場」の皆さんによる読み聞かせの場を提供いただいています。今後も協力いただきながら、本が読みたくなる「環境」「しかけ」をさらに工夫し、読書好きな児童を育てたいと思います。

【安全意識、保護者・地域連携について】

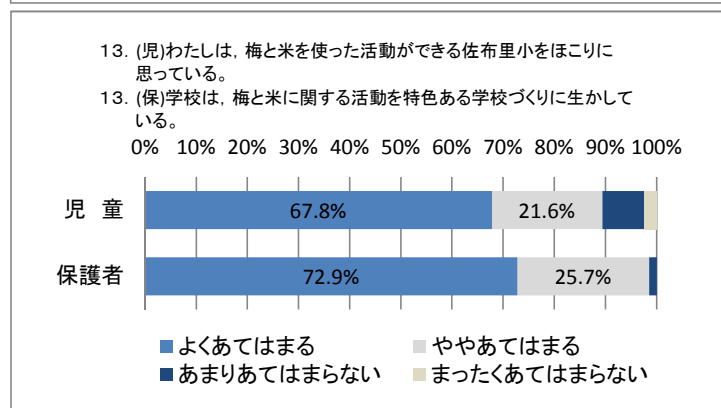
12. 安全に気をつけて生活できている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	63.1%	29.4%	5.8%	1.7%
保護者	41.8%	52.3%	5.5%	0.4%



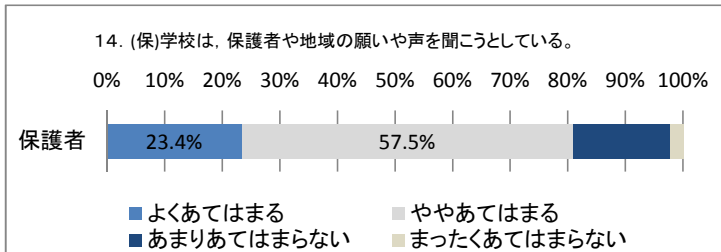
13. 梅と米を使った活動ができる佐布里小をほこりに思っている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	67.8%	21.6%	8.1%	2.5%
保護者	72.9%	25.7%	1.5%	0.0%



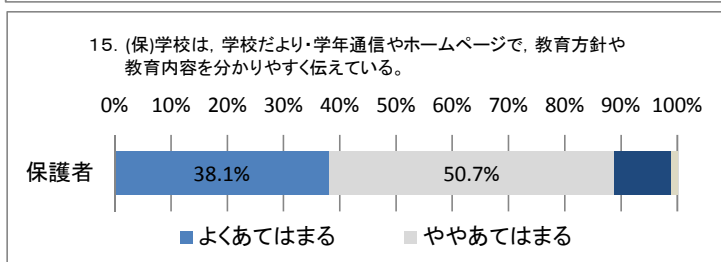
14. 保護者や地域の願いや声を聞こうとしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
保護者	23.4%	57.5%	16.8%	2.3%



15. 学校だより・学年通信やホームページで、教育方針や教育内容を分かりやすく伝えている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
保護者	38.1%	50.7%	10.1%	1.1%



12「安全に気をつけて生活できている」については、学校生活の具体的な場面を想定した訓練を予告なしで実施することで、「自分の命は自分で守る」という意識がもてるように指導していきたいと思います。また、来年度からは避難訓練や引き渡し訓練も実際の状況を想定した形式に変更して取り組んでいく予定です。

13の「梅と米を使った活動」に関する問いでは、昨年度より若干低下してはいますが89%の児童が「佐布里小をほこりに思っている」と答えています。保護者の方からは98%の方が肯定的に受け止めていただけており、大変ありがたいと思います。これも地域の方々と連携して活動できているからこそと感謝しています。

14「願い」15「学校公開」については、昨年度と比較して、肯定的な回答が減少しています。来年度は学校だよりや学年だよりの役割を明確にし、お伝えしたい内容を精選して「より分かりやすく」を目指していきたいと考えています。